

令和6年度

社会福祉法人あだちの里 事業報告

目次

- I 法人ミッションの推進
- II 法人意思決定・議決機関
- III 第3期中期事業計画に基づく基本方針・重点項目
- IV 重点項目に基づいた本年度の計画
- V 各種委員会・会議
- VI 寄付一覧

I 法人ミッションの推進

「障がい者が地域と共に 笑顔で生活できるよう 私たちは応援します」

生活介護事業、就労支援事業など当法人で実施している障害福祉サービスの課題整理を行い、魅力的に事業を展開するため4年後の到達目標を定め、第3期中期事業計画を改定しました。また、令和7年度法人設立30年を迎えるに当たり、法人職員、各関係者からあだちの里の強み、らしさ、課題などを確認して、法人ブランドの再構築に向けた検討を進めてきました。

II 法人意思決定・議決機関

1 理事会・評議員会

(1) 第1回理事会(令和6年6月6日) 全ての案件は承認されました。

- 第1号議案 令和5年度法人事業及び各事業の事業報告案
- 第2号議案 令和5年度法人本部会計及び各事業会計の決算報告案
- 第3号議案 令和5年度監事監査報告
- 第4号議案 社会福祉充実計画案
- 第5号議案 令和6年度第一次補正予算案
- 第6号議案 定時評議員会の招集案
- 第7号議案 東京都障害福祉サービス等職員居住支援特別手当事業補助金の一時金支給細則の制定案
- 第8号議案 居住特別手当の一時金支給細則の制定案
- 第9号議案 給与等支給規程の改正案
- 第10号議案 非常勤職員就業規則の改正案
- 第11号議案 ヘルパー就業規則の改正案
- 第12号議案 業務外出規程の改正案
- 第13号議案 特定個人情報保護取扱規程の改正案
- 第14号議案 役員等賠償責任保険契約更新案
- 第15号議案 竹の塚施設1階及び2階トイレ改修工事に係る一般競争入札案
- 第16号議案 希望の苑2階2ユニット(こまどり・つばめ)浴室・トイレ改修工事に係る一般競争入札案

(2) 定時評議員会(令和6年6月25日) 全ての案件は承認されました。

- 第1号議案 令和5年度法人本部会計及び各事業会計の決算報告案
- 第2号議案 社会福祉充実計画案
- 報告事項

①令和5年度事業報告、②令和6年度事業計画

(3) 第2回理事会(令和6年7月18日) 第2号議案は再提案となりました。

- 第1号議案 令和6年度補正予算案
- 第2号議案 法人ブランドの再構築に向けた業務委託契約の締結案
- 第3号議案 竹の塚施設1階及び2階トイレ改修工事に係る一般競争入札案
- 第4号議案 希望の苑2階2ユニット(こまどり・つばめ)浴室・トイレ改修

工事に係る業務委託契約案

報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況

(4) 第3回理事会(令和6年8月5日) 案件は承認されました。

第1号議案 法人ブランドの再構築に向けた業務委託契約の締結案

(5) 第4回理事会(令和6年9月26日) 全ての案件は承認されました。

第1号議案 利用者預り金等管理規程の改正案

第2号議案 竹の塚施設1階及び2階トイレ改修工事請負契約の締結案

報告事項

①第2期中長期事業計画評価、②理事長及び常務理事の職務執行状況

③希望の苑自動火災報知設備・非常放送設備交換工事完了

(6) 第5回理事会(令和6年11月28日) 全ての案件は承認されました。

第1号議案 運営規程の改正案

第2号議案 希望の苑(通所)生活介護事業(生活訓練)開始案

第3号議案 希望の苑(通所)運営規程の改正案

第4号議案 特定個人情報取扱規程の改正案

第5号議案 利用者マイナンバー等取扱要領の制定案

第6号議案 補正予算案

第7号議案 グループホーム賃貸住宅契約の更新案

報告事項

①理事長及び常務理事の職務執行状況、②法人後見の調査、③地域交流会等の実施

(7) 第6回理事会(令和7年2月20日) 全ての案件は承認されました。

第1号議案 給食業務委託契約更新案

第2号議案 通所系施設運営規程の改正案

第3号議案 希望の苑(入所)運営規程の改正案

第4号議案 希望の苑(短期入所)運営規程の改正案

第5号議案 あだちの里相談支援センター運営規程の改正案

第6号議案 評議員選任・解任委員会運営細則の改正案

第7号議案 年度末手当支給細則の改正案

第8号議案 積立金の取崩し案

第9号議案 補正予算案

第10号議案 令和7年度送迎サービス業務委託契約案

第11号議案 地域連携推進会議の設置案

第12号議案 令和7年度幹部職員配置案

報告事項

①理事長及び常務理事の職務執行状況、②希望の苑2階2ユニット(こまどり・つばめ)浴室・トイレ改修工事完了、③竹の塚施設1階及び2階トイレ改修工事完了

④慶弔要綱の改正

(8) 第7回理事会(令和7年3月27日) 全ての案件は承認されました。

第1号議案 職員就業規則の改正案

- 第 2 号議案 非常勤職員就業規則の改正案
- 第 3 号議案 ヘルパー就業規則の改正案
- 第 4 号議案 給与等支給規程の改正案
- 第 5 号議案 育児・介護休業等規程の全部改正案
- 第 6 号議案 業務外出規程の改正案
- 第 7 号議案 通勤手当支給細則の改正案
- 第 8 号議案 令和 6 年度積立金の積み立て案
- 第 9 号議案 令和 6 年度補正予算案
- 第 10 号議案 第 3 期中期事業計画の改定案
- 第 11 号議案 令和 7 年度事業計画案
- 第 12 号議案 令和 7 年度積立金の取崩し案
- 第 13 号議案 令和 7 年度法人本部及び各拠点会計の当初予算案
- 第 14 号議案 グループホーム用地取得案
- 第 15 号議案 足立区実地検査における改善状況報告案

報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況

2 監事監査と会計監査人監査

(1) 監事監査及び会計監査人監査による中間期並びに決算時等の帳簿類等を確認し、助言等をいただきました。監査の結果として指摘事項はありませんでした。

	中間監査日	決算等監査日
監事監査	令和 5 年 11 月 21 日	令和 6 年 5 月 9 日
会計監査人監査	令和 5 年 11 月 21 日/12 月 5 日	令和 6 年 5 月 9/10 日

(2) 足立区による実地検査は下記の事業所を対象に実施されました。

検査の結果、綾瀬ひまわり園で関係機関に事故の報告をしていないことが文書指摘となり、理事会にて改善案を審議し、改善に向けた対応を決定しました。他事業所で文書による指摘はありませんでしたが、口頭による指導や助言がありましたので、その内容は事業間で共有し改善しました。

【実地検査対象事業所】

①梅田ひまわり工房	④谷在家福祉作業所
②西新井ひまわり工房	⑤綾瀬ひまわり園
③谷在家福祉園	

Ⅲ 第 3 期中期事業計画(令和 6 年度～令和 10 年度)に基づく基本方針・重点項目

【基本方針】

1 ニーズに応じた質の高いサービス

中期事業計画策定に当たり、各事業の 5 年後の目標・姿を具体的に示すことができなかったため、1 年かけて各事業の検討会議を実施しました。各事業の課題を整理し、新たな目標を設定して具体的な内容を示すことができました。

2 働く環境の整備と職員の活躍

業務を効率的に遂行できるよう支援記録ソフト「福祉の森」で PT 等専門職が同一様式を活用しました。また、勤怠ソフト「ジンジャー」を一部の事業所を除いて導入し、

職員の申請書類の一部をシステム化しました。

3 安定した法人経営

障害福祉サービス等報酬改定が行われ、生活介護事業は基本報酬が時間単位となり、専門性がより求められる加算設計となったため、加算を取れるよう工夫して収入を確保しました。その結果、大幅な減収にはなりませんでした。また、各事業所単位で利用者の確保、利用率の向上に向けて取り組んできましたが、法人全体として課題が残りました。

4 地域に向けた取り組み

地域交流祭や地域感謝祭を行い、事業所や障がい者への理解を促進しました。また、地域のイベントでは、各事業所で製造している物品の販売やボランティアとして参画しました。

【重点項目】

1 ニーズに応じた質の高いサービス	(1)適切な支援 (2)高齢化への対応 (3)魅力的な事業の展開
2 働く環境の整備と職員の活躍	(4)業務の効率化 (5)組織の活性化と活躍の場
3 安定した法人経営	(6)経営の安定 (7)法人ブランドの再構築
4 地域に向けた取り組み	(8)社会や地域への貢献 (9)社会や地域への発信と連携

IV 重点項目に基づいた本年度の計画

各障害福祉サービスにおいては、事業の課題が明確になっていることから課題整理、課題解決に向け、時限付きで新たに検討会議を設置して中期事業計画を改定しました。

1 ニーズに応じた質の高いサービス

(1)適切な支援

中期事業計画 5年後の姿	不適切な支援・虐待ゼロ
--------------	-------------

複数の事業所で虐待認定されることがあり、職員の行動規範を再確認するため行動規範チェックリストを作成し、全職員を対象に実施しました。各事業所では職員会議を通じて、行動できていない項目をピックアップして行動規範を遵守するよう再周知しました。また、各事業所で虐待事由、改善策等を確認し、虐待防止委員会で防止策を検討しました。更に、全事業所で見守りカメラを設置するように準備を進めました。

(2)高齢化への対応

中期事業計画 5年後の姿	①生活介護事業で高齢化に特化した活動プログラムの実施と設備整備
	②PT、OT、ST等専門職の統一した活用

①希望の苑(通所)では、加齢・高齢化に特化した生活介護事業の開設に向け、トイレの改修等の設備整備や活動プログラムの開発の準備をしました。

②生活介護事業では事業所単位でPT、OT、STなどの専門職を活用しているため、記録様式、専門職の委託業務内容、業務委託料等を統一するため検討しました。その結果、記録様式については記録ソフトを活用して統一することができました。委託業務内容

や業務委託料に関しては次年度の検討課題としました。

(3) 魅力的な事業の展開

中期事業計画 5 年後の姿は次のように改定しました。

中期事業計画 5 年後の姿	①【生活介護】 継続的な送迎サービスの実施 強度行動障がい者支援の充実と専門性の強化 医療的ケア受入れの体制整備と実施
	②【就労継続支援 B 型】 すべての事業所で平均工賃 28,000 円以上、また 30,000 円以上の事業所が 2 ヶ所以上
	③【就労継続支援 A 型】 安定した事業経営の元、一般就労に向けた就労支援 体制の構築
	④【就労移行・定着】 就労支援体制の構築
	⑤【共同生活援助】 既存のグループホームの再整備及び日中サービス支 援型グループホームの整備
	⑥【施設入所支援】 地域移行の実現 医療機関との連携 施設整備と介護技術の向上
	⑦【居宅介護サービス】 法人職員の人材活用と経営の安定
	⑧【相談支援】 相談支援専門員体制の再構築
	⑨【地域生活支援拠点】 地域生活支援拠点としての機能及び連携の強化

①ア 送迎サービスを持続的に実施できるよう委託業者の見直し等新たな運営方法を検討しました。

イ 強度行動障害者等への専門的な支援を向上するため強度行動障害支援者研修の受講者を増やすとともに、専門的な支援が浸透するよう指導者を養成しました。

ウ 医療的ケアの実施に関しては、ご利用者の受け入れの範囲や職員の体制等を検討しました。

②全事業所が月額平均工賃 2 万 8 千円以上を達成するため、作業内容の見直しや生産性を評価する仕組みをつくりました。また、各事業所で製造している商品を地域のイベント等で販売して売上高を上げ、工賃向上に繋げました。

③足立区の施設清掃補助が一定額で最低賃金等の上昇等により事業継続が難しいことから、作業内容の見直しや業務委託料の値上げを再検討しました。また、事業所の統合など事業継続に向けた検討を行い、具体的な実施計画を策定しました。

④次年度より本格的に新たな障害福祉サービス「就労選択支援事業」が開始されるため、各担当で情報収集を行い、サービス内容等を把握しました。また、事業の実施等を含め就労支援体制を再構築するため、一般就労に向けた支援を強化するための対策を計画しました。

⑤ユニットの再整備に向け、新規の介護サービス包括型グループホームの土地の購入準備を進めました。

⑥地域移行の促進と入所施設の課題を整理検討し、具体的な中期事業計画の目標を設定しました。施設の設備整備や高齢化対策を適宜実施してきましたが、継続的に課題改善に向けた取り組みが必要であることから次年度の検討課題としました。

⑦居宅介護等の居宅系事業の課題を整理検討し、具体的な中期事業計画の目標を設定しました。人材確保、収入確保等経営面で事業継続に向けた検討が必要であることから次年度の検討課題としました。

⑧相談支援事業の課題を整理検討し、具体的な中期事業計画の目標を設定しました。相談支援専門員の職員体制を再構築するために年度途中での職員異動等を行ない、職員体制を強化しました。

⑨足立区の面的整備型地域生活支援拠点として、「相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場」を機能強化しました。また、足立区が整備する多機能型地域生活支援拠点に向けて、課題を整理検討し当法人で実施できるよう準備することとしました。

2 働く環境の整備と職員の活躍

(1) 業務の効率化

中期事業計画 5 年後の姿	効率的な業務遂行
---------------	----------

①業務内容を洗い出し、効率的に業務を行うために、勤怠等人事管理ソフトにて年次有給休暇、特別休暇等の申請に関して IT 化を進めました。

②規程、マニュアル等の見直し、改正等を適宜行なってきました。今後も、段階的に準備を進めていくこととしました。

③変則勤務者の働き方、業務内容などを検討してきましたが、具体的な方策を実施することはできなかったため、次年度以降の継続検討としました。

(2) 組織の活性化と活躍の場

中期事業計画 5 年後の姿	①安心して働き続けられる環境の整備
	②適正配置による採用計画及び育成計画の策定と安定した人材確保
	③様々な職員が活躍・成長できる場の設定
	④処遇の向上

①ア 法人内で相談支援専門員や SDGs 委員の公募を行い、職員が活躍できる場面を設けました。

イ 男性育休取得の促進に向け、育児を行う職員に対して推奨しましたが、取得した際、無給になることから 1 人の取得に留まり、今後の課題となりました。

ウ ハラスメントのない職場環境の啓発活動と外部講師による法人全体のハラスメント研修を実施しました。

エ 安全衛生委員会が設置されていない事業所でも厚生労働省のストレスチェックを実施し、メンタルヘルスの状況把握を行い、メンタル不調のリスクを軽減して職場環境の改善に繋がりました。

②ア 適正配置に基づき、採用計画を作成し 15 名の常勤職員を確保しました。

イ 研修体系の未整備研修及び新たに必要な研修設定など、次年度に実施できるような内容を検討しました。

③ア 次年度に向け常勤職員の新たな人事考課制度は、各等級のガイドラインや目標管理システム等の課題が多く、検討期間を延長し、令和 8 年度 4 月スタートに向けて検討を進めてきました。

イ 非常勤職員の人材育成、研修体系の検討を行い、非常勤職員の育成制度・異動調整等を行い育成しました。

④入所・グループホーム担当職員の変則勤務者への処遇改善は、財源の確保等の課題があり、次年度の検討課題としました。

3 安定した法人経営

(1) 経営の安定

中期事業計画 5 年後の姿	①法人組織体制の見直しとマネジメントの強化
	②委員会の運営方法の見直しと効果的な運用
	③安定した収益を確保するため、魅力的な事業を展開し、全事業所の定員充足率 90%と出席率 90%の達成経費を削減し、支出を抑制
	④将来を見据えた法人全体の資金計画を作成し、安定して経営するための資産管理の仕組みを構築
	⑤施設整備と設備整備
	⑥事業継続
	⑦顧客ニーズを把握し、サービス内容の見直し

①法人本部の組織体制に関して検討しましたが、事務職員の配置等の課題があり次年度の検討課題としました。

②法人委員会の運営方法等を検証し、見直しを行い整理しました。より課題改善を図るため、ICT 推進委員会を新たに設置することにしました。

③各事業所の目標値を設け、利用者確保計画を策定し、収入を確保しました。また、法人全体で火災保険の契約を法人に一本化し、経費削減に繋げました。

④資産管理、人件費、事務費、事業費の必要額を積算し、資金計画を策定するに至らず次年度の課題としました。

⑤足立区の施設整備計画等の情報等がなく、施設整備、設備整備計画を策定するに至らず次年度の課題としました。

⑥各事業の事業継続計画 (BCP) を見直しました。法人の事業継続計画策定に向けて準備を進めてきました。

⑦法人設立 30 周年を機に、次年度、新たなサービスの実態調査等を実施し、顧客ニーズを分析した上で実施内容を検討することとしました。

(2) 法人ブランドの再構築

中期事業計画 5 年後の姿	法人ブランドの再構築
---------------	------------

ブランディング専門業者と業務委託を締結し、法人全職員を対象としたアンケート調査を実施した上、各関係者のヒアリング調査、法人職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、新たなミッション、ビジョン、ロゴマーク等の法人ブランドの再構築に向け検討してきました。

4 地域に向けた取り組みの実施

(1) 社会や地域への貢献

中期事業計画 5 年後の姿	①地域ニーズにあった地域貢献活動の実施
	②あだちの里 × SDGs の促進
	③地域の災害時対応拠点としての機能の発揮

①障がいや障がい者の理解に関する公開講座を 2 回行い、地域の方に障がいのある方

のライフステージに沿った福祉サービスについて説明する機会を設けました。また、法人職員が足立区のながら見守りに団体登録して、地域清掃やウォーキング等の外出した際、子どもや地域の安全を守る活動をしました。

②新たな展開をするに当たり、委員会で検討して、当法人として具体的な 17 ゴールの 3「すべての人に健康と福祉を」を主な目標としました。

③第二次避難所として協定を締結している事業所に足立区の備蓄品等をすべて設置しました。また、4つの事業所が足立区の避難所運営訓練に参画して地域事情や運営方法を把握しました。

(2) 社会や地域への発信と連携

中期事業計画 5 年後の姿	①法人活動の発信強化
	②地域との連携

①Instagramに動画をアップできるよう広報活動を見直しました。目標であったインスタフォロワー600人を超え、611人になりました。

②地域イベントへの参画、地域向けイベントを開催しました。また、後援会イベント等を通じて連携してきました。

V 各種委員会・会議

意思決定	1	経営会議	理事長・常務理事・7 等級 施設長・事務局長	理事会案件の検討等法人の方針 等に関わる案件
	2	企画調整会議	理事長・常務理事・事務局 長・施設長・副施設長・課長	経営会議で決議された内容確 認、各事業・委員会等の報告

種類	委員会等	実施・検討内容等の項目	
委員会	1	法人改革プロジェクトチーム	①労働関係法対応の検討 ②人事考課制度の見直し ③考課者研修の実施
	2	法人公益的取組委員会	①地域における公益的な取組の実施 ②他法人との連携
	3	中長期計画推進委員会	①第3期中期計画の評価 ②第3期中期計画の改正 ③新たな計画の策定準備
	4	地域生活支援拠点委員会	①地域生活支援拠点の推進 ②GHの施設・設備整備 ③地域移行の推進
	5	就労・雇用委員会	①就労移行の情報共有 ②就労選択支援の検討 ③就労移行支援研修の実施 ④A型会議の開催
	6	就労継続B型委員会	①工賃向上と施設間連携 ②受注開拓・自主生産の情報共有 ③パン担当者会議の開催
	7	生活介護委員会	①強度行動障がい理解の促進・研修などの実施 ②重度障がい者の支援力強化 ③アドバンス研修受講者の活用
	8	高齢化対応委員会	①高齢化対応の推進 ②活動プログラムの検討 ③専門職の活用等を整備
	9	サービス向上委員会	①法人内事業所間の情報提供と共有 ②支援力の強化
	10	人権啓発委員会	①人権擁護の推進 ②虐待防止の取り組み ③身体拘束の適正化 ④虐待防止研修の実施
	11	リスクマネジメント委員会	①事故事例の共有 ②事故後対策・改善等の検討 ③ヒヤリハットの推進 ④個人情報保護等研修の実施
	12	危機管理委員会	①防災対策・防災訓練の実施 ②BCPの見直し
	13	マニュアル委員会	①マニュアルの見直し等整備 ②業務標準化の推進
	14	人材育成研修委員会	①非常勤職員の研修体系 ②等級別研修の設定 ③人材育成基本方針の見直し
	15	ハラスメント対策委員会	①ハラスメント防止の推奨 ②ハラスメント防止マニュアルの見直し ③研修の実施
	16	制度改革・報酬改定等対策委員会	①法律・報酬改正内容の確認 ②利用者の動向確認 ③法人後見の実態調査
	17	SDGs推進委員会	①SDGs活動推進 ②SDGs活動の広報
	18	身体系事業検討委員会	①医療ケアの受け入れ範囲と職員体制 ②重度心身障がい者の支援力強化
	19	感染症対策本部	①感染症の状況把握 ②感染症対策の策定、発信
専門職会議	1	事務会議	①会計管理 ②経理処理の整備 ③財務分析
	2	看護師会議	①感染症予防 ②健康診断等の実施 ③看護方法等の統制
	3	栄養士会議	①栄養管理 ②摂食管理 ③食中毒予防 ④委託業者の業務管理
時限会議	1	希望の苑入所検討会議	課題整理と5年後の姿を検討し、課題改善に向けた計画を策定
	2	相談支援事業検討会議	課題整理と5年後の姿を検討し、課題改善に向けた計画を策定
	3	生活介護事業検討会議	課題整理と5年後の姿を検討し、課題改善に向けた計画を策定
	4	就労継続B型事業検討会議	課題整理と5年後の姿を検討し、課題改善に向けた計画を策定
	5	就労継続A型事業検討会議	課題整理と5年後の姿を検討し、課題改善に向けた計画を策定
	6	居宅サービス事業検討委員会	課題整理と5年後の姿を検討し、課題改善に向けた計画を策定
	7	送迎サービス検討会議	送迎サービスの運営方法等の見直し
他	1	滞留債権管理委員会	①現状調査報告 ②回収計画の策定
行事	1	親睦会	職員交流等イベントの企画
	2	障がい者週間記念事業	作品展・発表会への参加等推奨
	3	障がい者施設地域交流 展示会	展示会への参加等推奨

VI 法人本部及び各施設の寄付金状況(寄付者の敬称略)

総額 6,711,850円

1 法人本部

No.	寄付者	金額	No.	寄付者	金額
1	綾瀬後援会	500,000	2	竹の塚後援会	900,000
3	谷在家後援会	450,000			

2 綾瀬ひまわり園

No.	寄付者	金額
1	アンカージャパン(株) (寄付物品を時価換算)	169,400

3 綾瀬なないろ園

No.	寄付者	金額	No.	寄付者	金額
1	綾瀬なないろ園家族会	58,800	2	匿名	500,000

4 竹の塚ひまわり園

No.	寄付者	金額	No.	寄付者	金額
1	竹の塚ひまわり園 保護者会	533,800	2	アンカージャパン(株) (寄付物品を時価換算)	254,100
3	(株)栄伸建設工業	107,000	4	(有)カルチェ (寄付物品を時価換算)	88,800
5	田村晶子	7,600			

5 竹の塚福祉園

No.	寄付者	金額	No.	寄付者	金額
1	竹の塚福祉園家族会	5,000	2	匿名	500,000

6 希望の苑(入所)

No.	寄付者	金額	No.	寄付者	金額
1	希望の苑(入所)家族会	440,000	2	木村京子 (寄付物品を時価換算)	412,950
3	匿名	200,000	4	東京都福祉局	120,000
5	アンカージャパン株式会社 (寄付物品を時価換算)	169,400			

7 希望の苑(通所)

No.	寄付者	金額	No.	寄付者	金額
1	希望の苑(通所)家族会	248,000	2	東京都福祉局	120,000

8 谷在家福祉園

No.	寄付者	金額
1	谷在家福祉園家族会	50,000

9 谷在家福祉作業所

No.	寄付者	金額	No.	寄付者	金額
1	谷在家福祉作業所家族会	100,000	2	東京都福祉局	120,000

10 梅田ひまわり工房

No.	寄付者	金額	No.	寄付者	金額
1	梅田ひまわり工房家族会	68,600	2	東京都福祉局	120,000

11 西新井ひまわり工房

No.	寄付者	金額	No.	寄付者	金額
1	西新井ひまわり工房家族会	100,000	2	東京善意銀行	120,000

12 西伊興ひまわり園

No.	寄付者	金額
1	西伊興ひまわり園家族会	98,400

13 江北ひまわり園

No.	寄付者	金額
1	江北ひまわり園家族会	150,000